

現状と課題

各中学校区の学校間で、義務教育9年間を見通した学習指導など、教育課程に関する共通の取組に課題がある。

ベテラン教員の大量退職に伴う若手教員の採用により、経験豊富な教員から若手教員への知識や経験の伝達が困難になっている。

子供が主体的に学習に取り組むことができる授業改善の推進が必要である。

文章を正確に読み解く力や、示された条件に合わせて複数資料を関連付けたりして適切に表現する力に課題がある。

学校の授業時間以外に、普段全く読書をしない子供の割合が、小学校では改善傾向にあるが、中学校では全国に比べて高い。

家で計画を立てて学習している子供の割合が全国に比べて低い。
朝食を毎日食べている子供の割合が、全国に比べて低い。

取組

「チーム学校」としての組織力向上

- ◇「スクールプラン」「学力向上推進プラン」に基づいた学校経営の促進
- ◇義務教育9年間を見通した計画的・継続的な学習指導の促進

学び続ける教員の育成

- ◇学校の取組等を支援するフォローアップ事業の実施
- ◇ミドルリーダー育成のための教員の県外派遣及び長期研修員事業の実施
- ◇学校経営力向上のための管理職研修会の実施
- ◇戦略的な学校経営力向上に向けた教頭の県外派遣の実施
- ◇授業力向上に向けた学力向上推進に係る研修会の実施

子供が「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善

- ◇『和歌山の授業づくり 基礎・基本3か条（きのくに学習スタンダード）』の活用の徹底
- ◇市町村教育委員会と連携し、授業力向上をめざした指導・支援の実施
- ◇『国語授業事例集（DVD）』『理科授業事例集（DVD）』及び『動画研修パッケージ』の活用の促進
- ◇学校図書館の開館と活用、ICT活用の促進

学力定着のための基盤づくり

- ◇補充学習の充実と家庭学習の習慣化の促進
- ◇県学習到達度調査の実施による学力定着度の把握・分析
- ◇『国語マスター問題集』『理科マスター問題集』等の活用の促進
- ◇「早ね・早おき・朝ごはん」運動の推進

成果指標

令和3年度全国学力・学習状況調査結果

次の学校質問紙調査結果が、全国の割合と同程度になる。

- 近隣の小中学校で、授業研究を行うなど、合同で研修を行っている学校の割合

次の児童生徒質問紙調査結果が、全国の割合と同程度になる。

- 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う子供の割合
- 家で自分で計画を立てて勉強をしている子供の割合
- 授業時間以外に、普段、全く読書をしない子供の割合
- 朝食を毎日食べている子供の割合

- 教科に関する調査結果で、全ての教科の県平均正答率が全国平均以上になる。



具体的な取組について

「チーム学校」としての組織力向上

◇「スクールプラン」「学力向上推進プラン」に基づいた学校経営の促進

各種調査結果やデータ等に基づき、学校評価と関連付けて「スクールプラン」を作成・公表・実行するとともに、「学力向上推進プラン」を実行するよう指導・支援する。【8月と2月に検証】

◇義務教育9年間を見通した計画的・継続的な学習指導の促進

各中学校区において、学習指導についての相互理解を深めるとともに、授業相互参観等に取り組むよう指導・支援する。

学び続ける教員の育成

◇学校の取組等を支援するフォローアップ事業の実施

優れた教育実践力をもつ退職教員を、学力定着に課題を抱える小・中学校（42校）に派遣し、学校の取組、若手教員の授業力や学級経営力の向上を支援する。【1校当たり14回程度実施】

◇ミドルリーダー育成のための教員の県外派遣及び長期研修員事業の実施

県内各地方で中核となる教員16名を秋田県に1週間派遣し、研修成果を県内に普及する。また、長期研修員事業を実施し、専門性とリーダー性を備えた教員を育成する。

◇学校経営力向上のための管理職研修会の実施

各校の現状や課題に応じて、学習指導等の改善・充実にに向けた組織的・計画的な取組を進めるよう指導・支援する。

◇戦略的な学校経営力向上に向けた教頭の県外派遣の実施

学校の課題を解決する力をもった管理職を育成するために、5名の教頭を福井県に2週間派遣し、研修成果を県内に普及することで、学校経営力の向上を図る。【管理職研修会等で研修成果を報告】

◇授業力向上に向けた学力向上推進に係る研修会の実施

全国学力・学習状況調査結果分析を踏まえた学習指導の改善・充実によう、担当者を対象とした研修を実施し、学力向上を図る。
【小学校：動画研修 中学校：集合研修】

子供が「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善

◇『和歌山の授業づくり 基礎・基本 3か条（きのくに学習スタンダード）』の活用の徹底

「和歌山の授業づくり 基礎・基本 3か条（きのくに学習スタンダード）」を徹底するとともに、学習評価を充実させる。

◇市町村教育委員会と連携し、授業力向上をめざした指導・支援の実施

県教育委員会と市町村教育委員会の各指導主事が連携を図り、学校指導・支援訪問等を通じて授業力向上をめざした学校の取組を計画的に指導・支援する。

◇『国語授業事例集（DVD）』『理科授業事例集（DVD）』及び『動画研修パッケージ』の活用の促進

教員の授業力を向上させるため、主体的・協働的な学びの実現をめざした授業づくりの指導用映像資料(DVD)や動画研修パッケージの活用を、研修会や学校指導・支援訪問等を通じて促進する。

◇学校図書館の開館と活用、ICT活用の促進

学校図書館を、常に活用できる環境に整えるとともに、ICTを効果的に活用し、問題解決的な学習の充実に取り組むよう指導・支援する。

学力定着のための基盤づくり

◇補充学習の充実と家庭学習の習慣化の促進

放課後や長期休業等を利用した補充学習と、「家庭学習の手引き」等を活用した家庭学習を実施し、学習のつまずきの解消と家庭学習の習慣化を図るよう指導・支援する。

◇県学習到達度調査の実施による学力定着度の把握・分析

当該学年までに学習した基礎的・基本的な学力の定着状況を把握し、授業改善や個に応じた指導に生かすよう指導・支援する。
【10月14日（水）調査実施】

◇『国語マスター問題集』『理科マスター問題集』等の活用の促進

教科指導に優れた教員の協力のもと作成した問題集を、授業・補充学習・家庭学習等で効果的に、かつ繰り返し活用し、読む力と書く力、問題を解決する力の確実な定着を図るよう指導・支援する。

◇「早ね・早おき・朝ごはん」運動の推進

充実した学校生活を送るため、「早ね・早おき・朝ごはん」運動を啓発し、家庭・地域と連携して、生活リズムの確立を促進する。

